

講演論文（一般講演，シンポジウム）の書き方

電気 太郎*，電子 次郎，情報 花子(〇〇〇大学)

Preparation of Papers for Tokai-Section Joint Conference on Electrical, Electronics, Information and Related Engineering

Taro Denki, Jiro Denshi, Hanako Jouhou (〇〇〇University)

1. まえがき

一般講演およびシンポジウムの講演論文を執筆する際には、この見本に従ってワープロで執筆してください。

2. 平成 26 年度大会の注意点

原稿の投稿前に講演申込・参加費支払が必要です。下記 Web から手続きを行ってください。

<http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2014/>

申込・支払締切は、6月26日(木)23:00です。締切後は、一切申込を受付けません。

続いて、論文を投稿してください。投稿は PDF ファイルのみとし、紙面での投稿は受け付けません。投稿締切は、6月30日(月)23:00です。締切後は、一切論文を受付けません。大会プログラムには、Web 入力された申込情報が用いられます。申込後に題目などを変更した場合は、著者の責任において申込情報の変更を行ってください。

一般講演では、口頭発表、ポスター発表を開催します。いずれの発表も原稿執筆、発表賞の取扱い等は同様です。投稿時に口頭発表またはポスター発表のどちらかを希望してください。ただし、希望に沿えない場合もあります。

冊子体の論文集は発行せず、PDF ファイルを収録した CD-ROM を論文集として発行します。大会プログラム、CD-ROM、大会参加章の事前送付は行わないため、当日大会受付にて受領願います。ただし、Web 上にて大会プログラム(電子版)の事前公開を行う予定です。なお、CD-ROM の発行日(8月下旬予定)を以て論文の公示日とします。

図表等を含めた原稿は、一般講演は A4 判縦 1 ページ、シンポジウムは A4 判縦 2 ページ以内とします。

3. レイアウトと文字サイズ

<3・1>マージン 原稿用紙は 2 カラム (2 段組) とし、上下左右のマージン等は表 1 のとおりです (全ページ共通)。本文の字詰は、1 行あたり 26 文字程度とします。

<3・2>配置 表題等は、この見本に従って次の①～④の順序で記載し、本文を書き始めてください。文字サイズと行送りは、表 2 を参考にしてください。

- ① 表題：第 1～2 行中央に 2 カラム通しで書く (第 1 行で済めば第 2 行目は詰める)。
- ② 著者名・所属：表題の下を 1 行あけて、次の行から中央に 2 カラム通しで書く。講演者名の右肩に「*」印を付ける。
- ③ 英文表題、氏名 (所属)：著者名および所属の下を 1 行あ

Table 1 Margins

上マージン	30mm
下マージン	27mm
左右マージン	18mm
カラム間マージン	7mm
カラム幅	83.5mm

Table 2 Type sizes

	サイズ	行送り
表題	14pt	22pt
著者名・所属	12pt	18pt
英文表題、著者名・所属	9pt	14pt
章タイトル	10pt	20pt
本文	9pt	14pt
参考文献	8pt	12pt

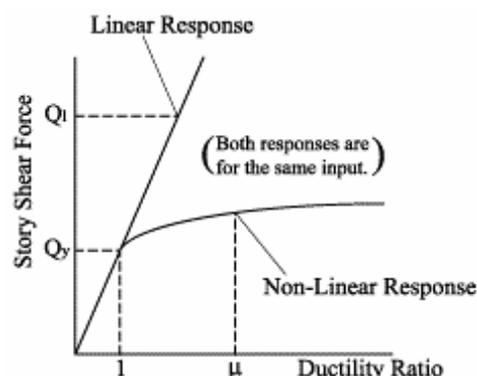


Fig.1. An example of figures

けて、次の行から中央に 2 カラム通しで書く。

- ④ 本文：英文表題、氏名の下を 1 行あけて、次の行から書く。シンポジウム原稿の場合、2 ページ目は上マージンに続いて第 1 行目から本文を書く。

<3・3>図表 前述の表および図 1 を参考にしてください。また、図表の説明は、原則として英文で表記してください。

<3・4>文献 本文末尾に通し番号を付けて一括記載し、本文中の該当個所に引用番号を付けてください。記載方法は、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年の順にしてください。

<3・5>問合せ先 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会事務局

Tel : 052-735-7139 Fax : 052-735-7139

E-mail : jimkyoku@tokai-section.org

文 献

(1) P.E.Frayssines, et al.: IEEE Trans. DEI, Vol.9, No.6, pp.899-909, 2002.

(2) 八木 他：電気学会電力・エネルギー部門大会, No.423, 2002.